

初のポールポジションも、決勝惜しくも2位

スーパー耐久シリーズ2008第2戦「ハイランドスーパー耐久レース」

2008年5月17日(土)～18日(日)

天候 : 晴れ
出走台数 : 27台
戦績 : 予選クラス1位 総合20位
決勝クラス2位 総合17位
獲得ポイント : 予選1点+15点/合計28点 シリーズ2位

2008年スーパー耐久シリーズ第2戦「ハイランドスーパー耐久レース」が仙台ハイランドレースウェイで開催された。開幕戦を惜しくも4位で終えたTeam Honda Accessは、短いインターバルでマシンを煮詰め直し、万全の体制で仙台ハイランド入りした。

<5月17日「予選」>

今回のSTクラス4はシビック5台、インテグラ2台の計7台がエントリー。金曜日の練習走行でセットアップを進め、土曜日の予選に臨んだ。Aドライバーの玉本は1周目にベストタイムをマークし、2番手につける。その後Bドライバーの予選では雲行きが怪しくなり、小林は早めにアタック。直後に雨が降り出したが、昨年の十勝で同様の条件を経験していた小林はライバルを抑えて堂々のトップタイムをマーク。クラスポールで決勝に駒を進めた。

<5月18日「決勝」>

決勝は快晴のもと12時38分にスタート。スタートを受け持った玉本は、2番手の#69シビックを徐々に引き離していき、30周時点で15秒のアドバンテージを築く。そして60周目にガス補給とフロントタイヤを交換して、玉本のままピットアウト。そのまま最大周回数近くの81周まで引っ張って、小林にチェンジした。この時点でのポジションは#69シビックに次ぐクラス2番手。先にピットインしていた#69号車に対し、トラフィックに引っかかったことやピットイン時に前方の車両に抑えられてしまったこともあって、マージンを失い、逆転を許してしまった。

小林は懸命に#69号車を追うものの、#69号車も同様のタイムで走り、その差は縮まらず。結局114周を走ったところでチェッカー。惜しくもクラス2位でレースを終えたが、首位と2ポイント差のシリーズ2位に浮上した。

次戦は6月14日～15日に富士スピードウェイで開催される。Team Honda Accessの活躍にご期待ください。

お客様からのお問合せは 株式会社ホンダアクセス お客様相談室 0120-663521へお願いいたします。
受付時間:9時～12時 13時～17時 (土日・祝祭日を除く)